

- 2025 大学合格者数
- 今年度の進路指導部
- 赤本ルール
- 祝！80 回生

デジタル化が進む社会で活躍する皆さんへ

副校長 田崎丈晴

縁あって新宿高校に着任しました。3月までは、文部科学省で「情報」という教科を担当しておりました。新宿高校で「情報Ⅰ」「情報Ⅱ」という科目が設置されておりますが、これらの科目の学びがより充実するための方策を考え、政策を考える行政官（いわゆる官僚と呼ばれる方々）に助言をしたり、「情報」の今後の在り方について調査したことなどを踏まえて行政官に提案したり、情報科の授業に取り組む全国の先生方を応援したり、といったことをしておりました。私が残してきたアイデアがいつどのような形で公表されるか分かりませんが、いろいろ書き残して文部科学省を去りました。

現在、「AI」という語を頻繁に目にするようになりましたが、そもそも、「AI」って何でしょうか。無批判に「AI」を受け入れてはいないだろうか、「AI」という言葉に踊らされてはいないか、など、思うところは沢山あります。

話は20年以上前に遡りますが、私は工学部で経営工学を修士課程まで学びました。この学科で学んだことは、今でいう「データサイエンス」と呼ばれるものがかなり沢山あったわけですが、20世紀にかかるとは思えないかの当時、他の学科の学生からは、「経営工学って、何つくってるの？」などと言われたものでした。「情報技術で新たな価値を創造するのだ」という話は、広く理解されない時代でしたが、当時、既に我が国は残念ながら「情報化」について、世界から遅れをとっていました。

卒業研究では、「音源分離」について自分で取り組んだことをまとめました。例えて言うなら、複数の人が同時に話している音声から、ひとりひとりの音声として認識する技術のことを指すわけですが、「音源分離」や「音声信号処理」について知っている私は、現在「AI」と称して、複数の音声の聞き分けを実現する商品などを見たときに、あ、それは「音源分離」の技術が応用されているのかな、といったことを考えることができます。また、それだけ、「AI」を解釈する自分なりの解像度が上がって、科学的な知見がある分、流行りの言葉に惑わされずに行動することができます。このような経験から、「AI」の語で説明されるものは、実際はどのような情報技術で実現されているのだろう、ということを考えることができます。

「情報Ⅱ」では、発見した社会課題を解決する文脈で、「重回帰分析」で複数の説明変数から目的変数を「予測」することを学びます。多次元のデータから特徴を抽出する「主成分分析」は、「機械学習」のひとつなのだ、ということも学びます。テキストを生成する「AI」は、「ニューラルネットワーク」で「自然言語処理」をしているのかな、ということも分かるようになります。ちなみに私が3月までアドバイザーを務めておりました大学院大学には、「自然言語処理」を研究したい意欲ある学生が世界各国から集まっています。

今後、「AI」「データサイエンス」にまつわるさまざまな情報技術で世界をリードする、もしくは「社会的価値を創造する」存在として活躍する人々が、新宿高校から何人輩出されるか、楽しみでなりません。学部としては、今は工学部だけではなく、情報学部、データサイエンス学部など、多様です。興味がある人は、東京大学など情報学の研究が盛んな大学について調べるのも良いでしょう。「生成AI」に質問しても良いと思いますよ。

○2025 大学合格者数（現役・既卒）4/4 現在

主な国公立大学等			主な私立大学（延べ）		
	現役	既卒		現役	既卒
東京大	2		早稲田大	80	6
京都大			慶応大	28	4
東京科学大	9	2	上智大	31	8
一橋大	5		東京理科大	43	17
北海道大	5	3	学習院大	17	1
東北大	4		明治大	122	17
名古屋大	1		青山学院大	49	4
大阪大	3		立教大	76	9
九州大	1		中央大	39	9
神戸大	1		法政大	83	12
弘前大	1		成蹊大	13	1
岩手大	1		成城大	15	1
茨城大	1		武蔵大	10	1
筑波大	9		國學院大	6	3
埼玉大	6		明治学院大	15	
千葉大	9	4	日本大	19	7
お茶の水女大	2		東洋大	31	6
電気通信大	3		駒沢大	6	
東京外語大	7		専修大	6	1
東京海洋大	1		大妻女子大	1	
東京学芸大	4		学習院女子大	3	
東京農工大	9	3	実践女子大	1	
横浜国立大	7	1	昭和女子大	4	
新潟大		1	津田塾大	6	1
富山大		1	東京女子大	10	
信州大	1		日本女子大	14	
京都工芸繊維大	1		北里大	11	1
岡山大	1		工学院大	6	4
長崎大		2	芝浦工大	34	8
宇都宮大		2	東京電機大	9	1
国際教養大	2		東京都市大	6	
東京都立大	13		東京農大	21	6
横浜市立大	1		順天堂大	5	
その他	6		その他	68	8
計	116	19	計	888	136
	135			1024	

○今年度の進路指導部

進路指導室は3階にあります。進路に関わる相談など、用事がある時は訪ねてください。3年生に限らず、1年生・2年生もお気軽にどうぞ。

また、進路指導室の隣が「進路指導資料室（赤本部屋）」です。ここには、廊下に置ききれなかった赤本や各大学のパンフレットなどの資料が置いてあります。

進路指導室前の廊下には、オープンキャンパスや職業体験・大学体験などの案内を掲示しています。自分自身に必要な情報を積極的に入手しましょう。好奇心のアンテナを常に働かせてください。

進路部 専任	★坂本（主任・数学）	
	★皆川（副主任・化学）	
	飯島（公民）	小島（数学）
	川原井（化学）	金井（国語）
	小室（物理）	寺島（数学）
1 学年	★長谷川（公民）	井手（数学）
2 学年	★大谷（日本史）	渡邊（生物）
3 学年	★竹内（物理）	横田（世界史）

★進路指導室常駐

○赤本ルール

進路指導室前の廊下と隣の資料室に赤本が置いてあります。赤本とは過去の入試問題を大学ごとに一冊の本にしたものです。

使い方

今の時期は、それぞれの大学の出題傾向や難易度をチェックするのに使います。時間を計ってやってみても、今はまだ合格点には届かないかもしれませんが、傾向を知り、対策を講じるために使ってください。入試直前期には文字通り、自分の力試しに活用します。過去問分析は合格の鍵となります。

ルール

廊下に置いてある貸出簿に必要事項を記入すれば借りられます。1 回に借りられるのは3 冊まで、貸出期間は10 月までは1 週間、11 月以降は2 泊3 日となります。最新版(2026 年度)は閲覧のみです。赤本以外の資料も同じです。みんなが使うものですから、ルールを守って利用しましょう。

祝！入学 80 回生

4月8日(火)新宿高校第80回入学式が挙行され、新入生319名が入学しました。10,11日のオリエンテーションで新宿高生としての心構えを学び、11日(金)午後からは授業が始まりました。そこでアドバイスです。とにかく最初が肝心です。まずは、5月の中間考査を意識して準備をしましょう。

その1 勉強する習慣をつけよう！

予習→授業→復習のサイクルが大切！

高校の授業で驚くことは各科目の専門性とその進み具合でしょう。特に授業の進度は中学校とは比較になりません。新宿高の授業についていくためには、毎日の予習、復習は欠かせません。高校での授業進度に慣れるまでは大変かもしれませんが、手を抜くことなく、全力で取り組みましょう。

その2 定期考査に最善を尽くそう！

定期考査は出題範囲が決まっています。まずは、授業内容、課題を完璧にこなしたいことです。学習の基本は「繰り返し」。どんな問題も、焦ることなく、まずは、ゆっくり、丁寧に、気持ちよく解けるまで繰り返ししましょう。そのうち早く対応できるようになります。満点を目指して、最高の準備で定期考査に取り組みましょう！

その3 先生に質問しよう！

授業でわからないところは、積極的に担当の先生に質問しましょう。教員室の座席は教科ごとに並んでいます。担当の先生が不在でも、その近くの席の先生に尋ねてみましょう。授業以外のわからないことは担任の先生に相談しましょう。自分から動き、声を出すことが肝要です。

先輩からの言葉

「なりたいものに全力挑戦！」

文化放送記者・気象予報士

35 回生 伊藤 佳子

新宿高校時代、地味で怠け者、積極性のカケラもなかった私が「どうしてもなりたい！」と強く思ったのが、アナウンサー。

新宿高校から推薦で学習院大学・数学科に入学、ここでラクした分なのか、アナウンサー受験はそれはそれは大変でした。春から夏にかけてはどこも受からず、一般企業に内定を頂きながら、秋になっても放送局をひたすら受け続けました。拾ってくださったのが、九州の宮崎放送。内定の電話をもらった時の嬉しさは今でも忘れられませんね。

4年間、局アナとしてラジオ・テレビを経験させていただき、帰京して文化放送の契約アナウンサーを25年、そのまま報道部に異動し8年になります。

「自分がなりたいもの」と「向いているもの」は残念ながら違うことはよくあります。でも「なりたいもの」に向かって突き進んでいくと、目標と違っていてもそれに近い何かになれることもあると思います。

宮崎放送を辞めてからは、不安定な契約アナだったので、とにかく資格を取ろうと気象予報士試験にチャレンジ、もう30年ほど前になりますが、出産を挟みながら1年かけて合格。

その後気象予報士として早朝5時からの生番組を担当したり、同僚の気象予報士アナと共著で気象災害本を2冊出版させていただきました。

今も気象庁担当記者として被災地に取材に行ったり、気象解説をしたりしています。
去年は年明けから能登半島地震で石川県に、夏には豪雨災害に見舞われた山形県などに入らせていただきました。

アナから報道に異動したときは、こんなにも自分は仕事ができない人間だったのかと思い知らされました。まず記者なのにニュース原稿が書けない、記者会見で何がポイントなのかわからない、政治家の顔・名前が覚えられず、言っていることの裏が読み取れない、ラジオで重要な音の収録や編集も下手…しかし文化放送とは実にやさしい会社で、様々なところに取材に行かせてくれました。国会や官邸、裁判所、事件・事故現場などです。

2018年、日本記者クラブでの大谷翔平選手の会見では

私 「ご結婚の予定はおありですか？」

大谷「結婚については全くないです」

私 「何歳ぐらいまでにしたいとかは？」

大谷「ないですね…（苦笑）」

という失礼な質問もさせていただきました。

他の記者たちは野球に絡んだまっとうな質問をする中、本当にバカな質問で顔から火が出る思いでしたが、日本記者クラブの受付を担当していた女性から「聞いてくださってありがとうございます」と言われ、去年真美子夫人との結婚が発表された時も一部のテレビで振り返りとして放送されていました。

勉強不足・力不足で不安でドキドキしながら取材現場に入ることも多いですが、ニュースの先端の場所にいられるのはありがたく、色々な発見があるものです。

ときどき街声収録、つまり街ゆく人に「マイナ保険証使ってる？」とか「今の政権に期待することは？」などを聞き、答えてもらった声を短く編集してニュースに出すという仕事があります。

私がよく街声を録りに行くのは、新橋、有楽町、そして新宿南口バスタ前付近。

高校時代の通学路に立って、信号待ちをしている人などに、記者証と文化放送の腕章をお見せしてお話を伺っています。新宿高校のロケーションは本当に素晴らしい！

最後に、ポンコツ記者の私から後輩の皆さんに小さなアドバイスです。

好きなこと、やりたいことが見つければ、まずは全力でその道にチャレンジ！

難しければ、他人より簡単にできてしまう、他人より少しでも得意と思える分野にチャレンジしましょう！

(同窓会のご協力を得て「先輩からの言葉」を掲載しています。)

